

1年生学年だより

平成 27 (2015)年 4 月 10 日

第 3 号

吹田市立第二中学校第一学年

学校は、何をするとところなんだろう・・・

「学」という漢字は、「子どもたちが、何かをならう（まなぶ）ために集まっている」様子を表したものでしょう。つまり、**学校は、学ぶ場所**であると考えられます。では、何を学ぶのでしょうか？

考えてみました。

1、学校は勉強しつづける方法を学ぶところ

まず、一つ目は、あたりまえのことです。それは、**学校は勉強をすところだ**ということです。勉強は、中学生である皆さんにとって、とても大切な仕事です。人間には、得意、不得意や好き嫌いがあります。不得意なこと、嫌いなこと、自分では無理、できないと思うことを、あきらめて避けて通るのは簡単です。しかし、どうすれば、出来るようになるか、分かるようになるか、頑張ってみることを、「勉強する」といいます。人は、生きている限り、勉強をしなければなりません。学校は、どのようにすれば**生涯、勉強し続けることができるか**ということを学習する場なのです。そのために先生達も、勉強することの楽しさを伝えることができるような授業づくりを努力します。

2、学校は人間関係（人とのつながり）を学ぶところ

学校は、多くの人たちが協力して生活をするところです。多くの人と一緒に気持ちよく生活をするためには、**お互いにゆずりあい、相手の立場にたって考える姿勢**が欠かせません。また、わがままをせず、「**がまんする心**」、困っている人に手助けできる「**やさしい心**」、正しいことを正しいと言える「**勇気ある心**」などが大切でしょう。これからの中学校3年間では、こういった心を鍛える場面がたくさんあります。時には仲間とけんかをしたり、投げやりになって何かにあたってしまったり、ついつい心にもない悪口を言ってしまうこともあるかもしれません。

しかし、そういった時こそ、みなさんの**心を鍛えるチャンス**です。先生やお家の人に相談したり、クラスの仲間と話し合ったりして、問題を解決し、一歩、一歩、大人へと成長するチャンスでもあります。クラス活動や、クラブ活動などを通じて、先生や同級生、先輩や後輩との豊かな人間関係を築き、友達をたくさんつくってください。

そのために先生達は、学校行事やクラブ活動で皆さんが活やくできるように、サポートします。そして、小さな問題にも目を向けて、皆さんに投げかけます。「**もっと良くないたい**」「**どうしたらいいのかわからない**」というときは、**先生方を信頼し、積極的に、何でも相談してください。**

3、学校は社会のルールやマナー、^{れいぎさほう}礼儀作法を学ぶところ

赤信号では止まる。朝は「おはようございます」とあいさつをする。今となっては**誰に教えてもらったのか忘れていたが、なんとなく身につけていることはたくさんあると思いません。それを常識**という場合もあります。皆さんが暮らす社会には、皆さんが知っている以上に、たくさんの常識があります。3年後、義務教育を終えた時点で、すべての行動が自分の責任となります。「**学校は小さな社会**」と言われる。守られた環境の中で、身につけていかなくてはならないルールやマナー、礼儀作法がたくさんあります。小学校で身につけなければならないことより、**中学校で身につけなければならないことの方がより責任をとれない、難しくなっていきます。**それは、**厳しくなったのではなく、社会人へ近づいている証拠**なのです。そのために先生達は、道徳や総合的な学習の時間をしっかりと計画し、3年間かけて皆さんが成長していけるプログラムを考えていきます。また、学校生活の中では、厳しい約束を守ってもらうこともあるかもしれません。

